

理念 地域に根ざした地域の為の医療と福祉

基本方針 慢性疾患病棟のすべての機能を自宅と街に持ち込む自宅の病床化を目指します。 自宅の病床化を支えるための循環器を中心とした24時間365日体制の急性期医療と内科を中心とした専門医療を行います。できるだけ御自分で生活していただく為の早期からの徹底したリハビリテーションを実施します。 高齢化社会に対応するため、糖尿病をはじめとする慢性疾患の管理及び健康の自己管理の啓蒙を行います。患者及び家族の方の立場に立って、当法人の行えるあらゆるサービスを提示し選択していただきます。 患者及び家族の方の権利を十分に尊重し、説明と納得による信頼される医療を心がけます。



医療法人 発行 大道中央病院 発行人:高良 健
陽心会 那覇市大道127番地 TEL(098)886-0007 FAX(098)886-6967

平成15年 4月号

たかまへみ

通信
Vol.5

地域とともに、地域に支えられながら、地域のために生きる 陽心会



ハルヤ ヌンヤマン ユイ ヌハナザカイ イチスイユルスチヌ ニウヌシヨラシヤ
テッポウユリ/「春や野も山も 百合の花盛り 行きすゆる袖の 白ひのしほらしや」平敷屋朝敏。
「春は野や山も百合の花盛りで、行き合う人の袖までも芳しく心ゆかしい。」この時期の百合の花を詠んだ琉歌。別名はリュウキュウユリで、初夏のさわやかな感じが伝わってきます。

二〇〇三年新春のあいさつ 大道中央病院 理事長 高良 健
みなさん、明けましておめでとうございませう。おかげさまで当医療法人陽心会も今年で開院十五周年を迎えました。
昨年度は在宅に向けての徹底したリハビリテーションを行うための大道中央リハビリテーション病棟の開院、慢性疾患を集中的に教育・指導・治療をおこなうための内分泌糖尿病センターの開院、自宅の病床化をめざしたグループホーム・たかまへみの家との提携有料老人ホームとして健寿の杜の開院などをおこないました。
今年度も地域と共に、地域に根ざした、地域のための医療と福祉に邁進したいと思っております。本年もよろしくお願いいたします。

「NPO法人たかまへみ」発足!

大道・栄町を中心に、その周辺地域の活性化を目的に、「NPO法人たかまへみ」は平成十四年八月に設立されました。

その前進となるのが平成七年三月に発足した「大道医療と福祉を考える会」です。高齢化の進んだこの地域の教育や保健医療福祉を充実させること、交通や緑化、ごみ問題などを改善して安全で安心な開かれた町づくりを実現するために、様々な活動を一歩一歩できることから進めています。

特に大道医療と福祉を考える会発足後、初のイベントとなった「大道栄町納涼盆踊り大会」は各団体の協力を得ながら現在も続いており、町に世代を超えた「コミュニケーション」が生まれ、多くの発想と歓声、知恵が集結して活気づきました。

大道・栄町という特色ある地域がより連携を深め、多くを話し合い実行していくことで地域の振興と商業の活性化、医療福祉の充実などが実現していくと考えます。

私たちの住む町だから、多くの人が集い賑わう町にしたいから、元気で健康ないつも笑い声の響く町に。活発に交流を交わし「NPO法人たかまへみ」としてさらなる前進を続けます。

■法人構成

- 医療法人陽心会理事長・高良 健
- 栄町市場振興組理事長・石垣 隆
- 大道自治会会長・石橋 俊夫
- 栄町飲食社交業組理事長・佐久本 広美
- 大道通り会会長・森田 孟
- 大道老友会会長・野里 栄進
- 健友クラブ会長・新里 清子
- 大道青年会会長・山内 哲也
- 大道こども会会長・宮里 眞一
- 大道地域福祉推進会・與那嶺 康

●風邪とインフルエンザは同じものですか？

かぜとインフルエンザは全く別だという考え方もありますが、かぜという大きな範囲の中に、インフルエンザとそれ以外のかぜがあると考えてもらった方が分かりやすいと思います。

●症状は？

かぜと症状は似ていますが、インフルエンザは、一つひとつの症状が重症化しやすいのです。急に高熱が出てくる、なかなか下がらない、下がってもすぐ上がる、筋肉痛とか関節痛などが加わります。それに移りやすいのが特徴です。

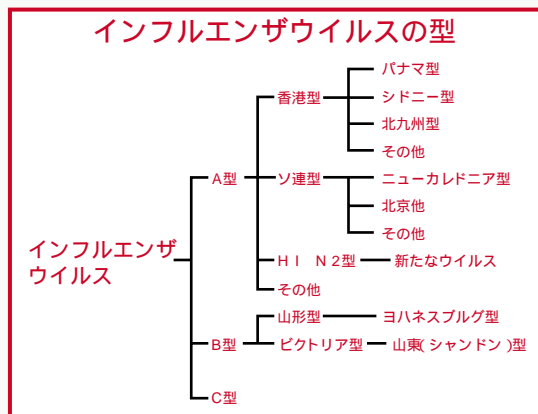
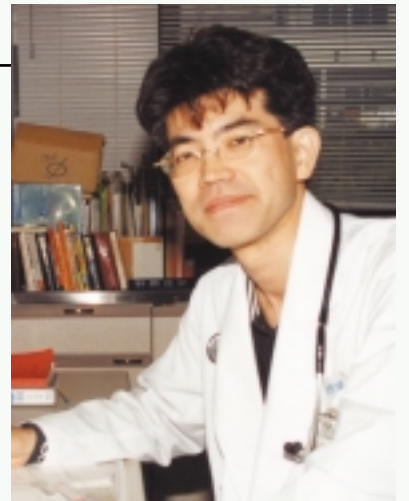
特に小さいお子さんやお年寄り、抵抗力のおちた方は、肺炎などの合併症も出やすく、それでお亡くなりになるケースもありますので、注意しなければなりません。

●予防法は？

予防法としては、帰宅時の手洗いやうがいなどが大切です。あとインフルエンザウイルスは湿気に弱いと言われているので、加湿器などで、部屋の湿度を上げる。また感染しやすいので、インフルエンザが流行しているときは、できるだけ人込みは避けてください。

インフルエンザの予防に ワクチン接種を

辻町若狭クリニック院長 野原 正史



また、インフルエンザの予防接種を受けることをお勧めします。予防接種すれば万全というわけではありませんが、かかりにくくなるし、かかっても軽くてすむ場合が多いのです。またインフルエンザの予防接種をしたら、他のかぜにもかからなかったという声もよく聞かれます。

●インフルエンザの種類は？

インフルエンザの種類は、A・B・Cの三つの型に分かれ、主流のA型とB型は、それぞれ別の型の中で、さらに細かく変化しています。毎年流行するインフルエンザの型が違いますし、ウイルス自体が少しずつ変わっていきますので、毎年予防接種をした方がいいでしょう。

●何回受ければいいですか？

これまでひと冬に二回予防接種を受けなければいけないと言われていましたが、六十五歳以上のお年寄りを対象に調査した結果、感染の予防に必要な免疫力の上昇は、一回も二回もほとんど変わらないということ、現在は一回だけでよいといわれています。ただし、免疫力が低下している方や小さなお子さんは二回受けた方がいいでしょう。

十一月頃から予防接種を開始していますが、インフルエンザの予防は、接種後、大体二週間くらいしないと抗体はできませんので本格的に寒くなる、一、二月の前には受けていた方がいいでしょう。

●費用は？

予防接種の費用については、高齢者を対象に公的補助が出ています。六十五歳以上の方ですと、千円程度で接種が可能です。各市町村や医療機関によっても違いますが、全額自費でも、三千円から四千円くらいです。詳しくは各関係機関にお問い合わせください。

●副作用は？

患者さんから、インフルエンザの予防接種の副作用について質問を受けることがよくあります。確率は非常に少ないのですが、どうしても副作用はあります。インフルエンザワクチンというのは、卵を使っているため、卵や鶏肉にアレルギーのある方は、アレルギーが起る可能性が高いと言われています。受ける前に、医者によく相談することです。インフルエンザは普通のかぜと違って特效薬がありますから、かぜかなと思ったら、とにかく早めに医療機関に行くことです。

Medical トーク&トーク



検査室/課長 平良 美佐子さん

病院で診療や治療が光の部分なら、診断をおこなうためのデータを提供するのが検査部門で、影の部分になると思います。

診断や患者さんの症状に必要な検査を、ドクターの診察をうけてから、その後ドクターの要請や指示で行います。検査には大きく分けて二つあります。

一つは検体検査です。器械化されていて主に器械がやってくれます。しかし、扱う方も判断や熟練が必要になってきます。エコーや心電図、眼底検査などです。

もう一つは生理検査です。患者さん自身の尿や血液を採って調べたりするようなものです。

検査はドクターのオーダーにあつちつに日頃から技術を身につけるようになっています。検査器械に関しては高度

なものが揃っているので十分な検査ができると思っています。

特に検査をする場合に気をつけているのは、検査を受ける患者さんの立場になって考えることです。当病院は老年寄りが多いので、本人かどうかの確認をおこなうこと、どういつ検査で、どういつのいいの、また、検査の意味合いなども説明します。そうすると、安心して検査を受けてくれます。

検査技師としては、ドクターに出すのは、病名を決めるための重要なデータなので検査したデータに責任を持つこと、出して後も改めてみて確認をすること、結果データに自信をもてるようにすることだと思っています。

部署紹介

検査部門



検査部門は、日々、ドクターの診断や指示のもと、患者さんの検査を行っている部署です。構成メンバーは臨床検査技師七人ですべてが女性です。これまで五人体制でやってきましたが、検査業務が多くなり、患者さんへご迷惑がかららないよう新たに二人のメンバーを加え、七人となりました。

した。新人といっても、私達のチームの中でのごことで、仕事に関しては経験者でエキスパートです。
時差出勤や交代で休みを入れてるので、七人が揃うことは週に一度のわずかな時間です。しかし、それぞれみんな仲良く、和気あいあいと仕事をやっています。

患者さんの状態を器械やその他のもので調べてデータをドクターに提供するのでミスがないように、細心の注意を払ってみんなやっています。患者さんへ検査などの説明もおこないますが、通り一辺倒の説明でなく、それぞれの患者さんの年齢などに応じて話しています。

たとえば、お年よりの方には、わかりやすく、方言をいれたりしながら話します。患者さんの立場になって、丁寧な検査と説明を心がけてやっています。

食事の時などは、身近な出来事が話題になります。話題の中心は、その時々によって違いますが、みんな自分の得意な分野の話をそれぞれにして、緊張をほぐしています。

あの店 この店

事務用品のデパート 平成事務機



平成事務機
■大道中央病院斜向かい 098-887-1854
8時30分～20時30分 日曜日定休

あしかけ二十一年の事務機屋さんだ。お客さんから「事務用品のデパートだねえ。何でも揃っている」と重宝されるという、事務用品・事務機メーカーを多彩に扱い、幅広いラインナップの中から選ぶことができるので評判がいい。企業顧客への納品がメインだが、店頭販売も手ごろな価格なので周辺の商人、学校帰りの子どもたちも多い。「お客様に有利な商いを毎日続けること」というモットーを守り続け、小さな文房具にも愛情を見せる店主と奥さん人柄も人気の由縁だろう。

大道さんぽ日記



大道青年会会長
山内哲也さん

青年会が出来てから僕は二代目の会長です。四年目にはいます。青年会の主な活動は、旧盆の時の道シユネとエイサーですね。学校の卒業式などにもエイサーをやっています。大道自治会と大道中央病院も一緒に盆踊りを栄町のロータリーを歩行者天国にしてやっていますよ。

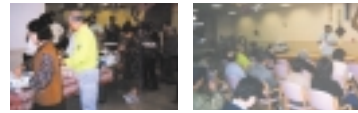
月一度の行事としては、子供会と共に地域の清掃をしているんです。商店街や飲食店街があるので以前は、タバコのポイ捨てなどが目立っていましたが、今では、それも少なくなっています。きれいなところは捨てられなくなるし、子供達がやっているのを見ているから心とすするようです。

今年の目標は、これまで市が行っていた成人式がなくなつたので、地区の青年会でやるかと思っています。羽目をはずし、やんちゃをして世間に迷惑をかける一部の成人のせいで、人生の節目の行事がなくなるのは、どうかと思います。現在、準備委員会をつくって来年の一月には、ぜひやりたいと思っています。

三心会 だより

一月二十八日、やすらぎの里（栄養ラウンジ一階）にて食事・勉強会を開催します。今回のテーマは「一人一人の疑問をみんな考えよう」と題して、勉強会を行います。「自分はこんなことに気をつけているが他の人はどうしているのか？」さまざまな疑問をあらゆる角度からみんなで一緒に考えて、学んでいきたいと思います。

当日はカロリー計算された食事も用意、お気軽に参加下さい。尚、参加は無料です。



暮らし歳時記

栄町市場商店街振興組合去る一月十九日、沖縄都ホテルで栄町市場商店街振興組合の第十九回新年会を開催しました。組合員はもちろん、多くの来賓の方に参加していただき、昨年にもまして盛況な新年会となりました。翁長那覇市長、仲井真那覇商工会議所会頭の来賓のあいさつ。婦人部のカラオケや栄町診療所のみなさんの寸劇もあり、また、鏡割りもあり、楽しくにぎやかなものでした。出席した六十人の方々も大いに喜んでいただきました。



- ① 大道中央病院
那覇市大道127番地 TEL(098)886-0007
- ② 大道中央リハビリテーション病院
那覇市安里1丁目468-59 TEL(098)869-0005
- ③ 介護老人保健施設 やすらぎの里
那覇市安里1丁目468-59 TEL(098)869-0030
- ④ 在宅介護総合ケアセンター陽心会
那覇市安里381-1 TEL(098)885-0030
- ⑤ 辻町若狭クリニック
那覇市若狭3丁目5番地17 TEL(098)869-6122
- ⑥ 那覇市在宅介護支援センター若狭
那覇市若狭3丁目5番地17 TEL(098)863-1165
- ⑦ デイサービスセンター三原
那覇市三原1丁目31番20号 TEL(098)840-0051
- ⑧ 天久りうぼう(医療福祉相談センター)
那覇市おもろまち1-2-1 TEL(098)862-0150
- ⑨ たかま〜みの家
那覇市安里3-1-47 TEL(098)941-0080